

# 社会科教育(小) 実技・理論 研修会 終了報告

テーマ	追究を通して、主体的に社会とかかわる力を育む社会科学習の創造	
日時	令和 4年 7月 8日(金)	
会場	石狩教育研修センター	
講師	佐藤 正寿 氏 (肩書:)東北学院大学文学部教育学科 教授	
参加者	19名	
研修会 の 様子		<p>今年度も、石社研の研究主題に即した話題を提供して下さった。リモートでの開催となったが、聞き手を飽きさせない語り口で、参加者のメモを取る手が止まらないほどであった。</p>
		<p>子どもの思考の筋道を意識した単元構成について、 ○単元の「問い」がポイント ・資料を提示→課題や驚き ・「単元の問い」を設定 ○子どもたちが「問い」を自分事にする ・課題意識の共有化 ・本時の問いとの関連等の話をいただいた。</p>
		<p>歴史の授業開きの模擬授業～「私は誰でしょう」 ・一部をかくす ・一部を提示する ・順番に見せる ・途中まで見せて予想させる 等の資料提示の工夫を取り入れながら、スリーヒントクイズ形式で行った。</p>
		<p>講演で話されたことの具体的な姿を、模擬授業で見せてくださり、説得力のある内容となった。 質疑応答の時間では、参加者からの質問に熱心に答えてくださり、社会科部員にとって、大変有意義な講演会となった。</p>